

□ 要請番号 (JL22718A02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エルサルバドル	G115 水泳		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

エルサルバドル・スポーツ庁

2) 配属機関名 (日本語)

エルサルバドル・パラリンピック委員会

3) 任地 (サンサルバドル県サンサルバドル市) JICA事務所の所在地 (サンサルバドル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約0.4時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

本配属先は、車イスバスケットボール協会をその前身とし、1984年の国際パラリンピック委員会の正式認定により、当国に創設された。当国では、エルサルバドル・スポーツ庁の傘下団体のひとつとされている。事業概要としては、障害者スポーツの普及と競技者の強化を目的とし、障害者に対する障害者スポーツの紹介イベントの企画、国内および国際大会への参加および開催の企画、強化選手に対するトレーニング環境の提供および整備、また国際パラリンピック委員会との連携等を行っている。2017年の事業予算は、約10万米ドル。2018年1月まで同庁のスポーツ課配属のJV(職種:体育)が本配属先にて活動を行っていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

本配属先は、障害者に対する陸上競技、水泳、車イスバスケットボール、車イステニス、シッティングバレーボール、ボッチャ、卓球、パワーリフティング、サッカーなどの普及と強化を行っている。2018年1月まで、エルサルバドル・スポーツ庁に所属する体育隊員が、本配属先において、陸上競技、シッティングバレーボール、そして水泳の指導を各競技者に行っていた。本配属先では、水泳に関し、今後、選手全体の能力底上げを図っていくという目標を立てており、現在、常勤・非常勤のコーチ2名が10名前後の選手に対して指導しているが、指導経験も浅く、また体系的な訓練メニューが整備できていない状況にある。選手の多くは、肢体障害者であり、技術レベルは大きく中級者と初級者に分かれる。強化のためには選手個人の能力に合わせたメニューが必要であるが、コーチの人員および経験不足から十分な指導が行われておらず、ボランティアの要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.障害者への体系的な水泳指導のメニュー作り
- 2.水泳選手への強化指導
- 3.水泳指導者への指導
- 4.障害者向けのイベントにおいて、初心者に対する水泳競技の紹介
- 5.2020年パラリンピック東京大会に向けた日本の関係機関(合宿先候補の自治体)との連携

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

競技用50mプール(8レーン)、ビート板

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先会長(60代男性)
事務担当者(30代女性)
常勤水泳コーチ(20代男性)

非常勤水泳コーチ(30代男性)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]： ()

[性別]： () 備考：

[学歴]： (大卒) 備考：同僚が体育教員免許を所持するため

[経験]： (指導経験) 5年以上 備考：水泳指導の体系的知識が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯夏季少雨気候) 気温： (15～35℃位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水道]： (安定)

【特記事項】

障害者スポーツ指導員資格を有する事が望ましい。
原則として住居はホームステイ。